第 1 回応用物理学会 東洋大・東京電機大 SC 講演会（終了報告）

チャプター名	東洋大・東京電機大 SC
開催日時	2025 年 3 月 1 日　　15：10～17:00
場所	東洋大学 バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター4 階学際/融合セミナー室
参加者	23 名（内応用物理会員 16 名）

開催目的

学生主体の口頭発表を通じて、他分野の聴講者にも自身の研究をわかりやすく伝えるプレゼンテーション能力を培う機会を提供する。また、他研究室の先端研究についての理解を深め、研究室間の交流の促進を目指す。

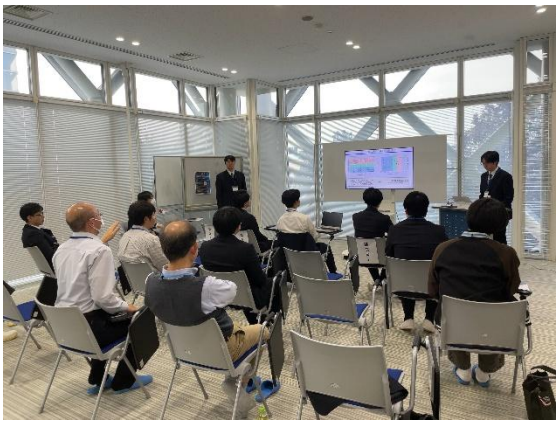
開催内容

・東京電機大学 工学部 電気電子工学科 森山 悟士 教授による招待講演

・物理・化学両分野の研究室の代表者による自身が行っている研究についての講演

開催結果

講演者の皆様が分かりやすい発表・資料作成を行ってくださり、各研究室での先端研究を深く理解することができた。電気電子系の発表では、二次元材料の特異性・有用性を改めて感じたとともに、層数制御や材料の組み合わせによる今後の発展も期待できると感じた。化学系の発表では、薄膜結晶作製における熱の影響や他の材料との相互作用などの知見を得た。講演全体を通して活発な質疑応答が行われ、純粋な興味や疑問を共有し交流を深めるとともに、相手に伝える力を培うという目的を達成できたと考える。



令和 7 年度　千葉大学 SC 第 1 回定例会　報告書

チャプター名	千葉大学スチューデントチャプター
開催日時	2025 年 4 月 25 日　　16：00～17:30
場所	千葉大学/工学系総合研究棟 1/2 階/第 2 会議室
参加者	13 名（内応用物理会員 6 名）

開催目的

本会は、千葉大学 SC の新たな参加者に向けた応用物理学会 SC の説明と 6 月に予定されている交流会の打ち合わせを目的として開催された。また、外部から第一線で活躍されている講師を招き、研究及びキャリアに関する講演をいただき、先生方の専門分野に関する知見を広げるだけでなく、研究の進め方や考え方から研究に対するモチベーションの向上も目的に招待講演を依頼した。

開催内容

スケジュール

① 16:00-16:30 応物 SC 要旨、早大日女大×千葉大合同交流会概要

② 16:30-17:30 招待講演

・東京大学　素粒子物理国際研究センター(ICEPP) 中山和之
「直線だけがまっすぐではない」

・東北大学大学院理学研究科　大野誠吾
「モアレパターンのトポロジカルな性質に基づくテラヘルツ構造化光の発生」

前半は、本会の代表である米田が開会の挨拶を行い、新たな参加者に向けた応用物理学会 SC の説明および、メンバーリストの更新が行われた。その後、6 月に実施予定の交流会の概要が共有された。後半は、招待講演として東京大学の中山先生と東北大学の大野先生から、研究者になるまでの経緯や研究内容についての講演が行われた。また、これらに関して、質疑応答が交わされた。

開催結果

千葉大学 SC のメンバーリストが更新された。更なるメンバー追加のために、知り合いの研究室への声掛けが提案された。また、合同交流会の概要や当日のスケジュールが共有され、交流会 Discord サーバーが紹介された。

中山先生からは、研究に興味を持ったきっかけや、研究者になった経緯、研究を進めていく上で大切なことや気づきについての講演がなされた。さらに、スピントロニクスに関わる研究内容が紹介され、質疑応答が交わされた。

大野先生からは、モアレパターンとメタマテリアルを用いたテラヘルツ光の偏光およ

び位相制御についての研究紹介がなされた。また、恣意的でないデータ解析や情報エントロピーという指標が紹介され、モアレパターンやテラヘルツ光を扱う学生と質疑応答が交わされた。

講演の様子